

## 『猪突猛進、私の変遷』

私が明治大学に入学した 1982 年(昭和 57 年)は、世間を風靡したバブル経済が始まる少し前であった。高校時代は 3 年の夏の大会終わるまで甲子園を夢見て、野球に明け暮れた日々を送っていた。

身長 170 cm、体重 65kg と小柄ではあるが俊足好打、守備力は抜群にセンス良く、攻・走・守の三拍子そろった素晴らしい選手???で、憧れの明治大学硬式野球部に入学と同時に入部し、神宮の星を目指すべく、希望に胸を膨らませ練習に一生懸命励んでいた。

私は、甲子園出場の経験も無く地方の無名校出身の選手であったので、野球部の合宿所生活では無く、つつじヶ丘のグラウンドの近くで下宿をしての通いからのスタートであった。

そして、1983 年(昭和 58 年)も終わろうとする二年生の秋期キャンプの時、選手の生命線でもある肩の怪我により、神宮の星になる夢を諦め、やむなく野球部を退部し、何とか規定単位スレスレの成績で和泉校舎を無事卒業し、三年生からは駿河台校舎に通う事ができた。

その後の二年間は、学生の本分は勉学に勤しむ事だと悟り、昼は単位取得の為、真面目に授業に出席し、夜は新宿・渋谷界隈で花の東京での学生時代を満喫し、野球漬けだった頃とかけ離れた学生生活を送る日々となった。だが、硬式野球部時代の二年間で島岡監督や平田先輩(現阪神二軍監督)などの教えで培われた猪突猛進、前に進む「明治伝統の精神」は、如何なる時もまたこの先も永遠に忘れる事は無いと思う。

大学生活 4 年間はあっという間であり、1986 年(昭和 61 年)3 月、明治大学政治経済学部経済学科を優秀な成績?で卒業し、松下電器産業(株)(現 Panasonic)に入社した。その時に入社同期で一番仲が良かったのが偶然にも明治大学理工学部出身の宮崎氏(現 大阪校友会)であった。学生時代はお互い全く知らない同士で、入社して明治出身と分かり意気投合したのである。よほど明治大学に縁があるのか。実に今思えば不思議である。三年後の 1989 年(平成元年)に Panasonic を退社し、奈良大和郡山に戻り、祖父から創業の会社に入社する。当時の体重は、現役時代と変わらず 65kg。まだまだ私がスマートな時である。もはやこの時代の体形に戻るのは夢また夢なのか・・・

そして、1994 年(平成 6 年)に人生最大の転機(結婚)が訪れる。ここからが著しく私の身体の変化が目に見えて表れて来る事となる。結婚 1 年後、男の子が誕生するが、その時の体重は若干現役時代より増えたが 70kg。まだまだ今と比べものにはならない。三年後 1998 年(平成 10 年)には二人目の女の子が誕生する。その時の体重 75kg。卒業 10 年で 10kg。着々と増え続けていた。

ちなみに食べる量は、言うまでも無く、「猪突猛進」のままであった。

2004年(平成16年)健康の為と禁煙を宣言し、現在まだ進行形である。禁煙時の体重が80kgを超え、ふと学生時代見ていたテレビ番組を思い出す。明治大学出身の先輩である西田俊行さんが主役の「池中玄太 80 キロ」である。あの頃は、主人公の西田さんがかなり肥っていると思っていたが、同じ体重になってしまっていて言い訳も出来無い。今思えばこの禁煙をした事が体重増加への一途をたどるキーポイントだったのかもしれない。

昨年、2012年12月2日に足首の靭帯損傷の大怪我をやってしまった。前日1日は校友会の忘年会で先輩諸兄の皆様とあきひろ亭で楽しく宴会で団らんの一時を過ごしていたが、一夜にして悪夢到来。

この時の体重は、生涯最高値の95kgに達しており、それも少しは原因の一因であるかもしれない。人生の半ばを過ぎての怪我は身も心も堪える。しかし明治出身たる者、「漸進」で前向きに行く。やはり心はいつも「猪突猛進」であると改めて自分に言い聞かす。

そして年が明けて今年、2013年(平成25年)2月現在、足の怪我也も順調に回復しつつあり、現在の目標は、春から今まで通りにゴルフが出来る様にとリハビリの日々を過ごす毎日で、現在体重95kgでリミットいっぱい。

この体重も少しずつ落としていかなければと思う。

今の目標、「堀口 伸一 80 キロ」。

明治大学入学時から32年が過ぎ、猪突猛進に人生を生きてきた結果、増え続けた体重が30kg。時代と共に体形は大きく変わってしまったが、母校明治を愛する熱い思いは、今も昔も変わっていない私である。